

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 03 月 14 日作成)

小委員会名	サーマルマネキン学会規準作成小委員会	主 査 名：田辺 新一 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：田辺 新一 主 査 名：佐土原 聡
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・サーマルマネキンを用いた室内温熱環境評価法の学会規準作成 ・2013 年度：CD 及び DS の執筆、国内外文献及び最新動向の調査、解説書執筆 ・2014 年度：ES に向けてのシンポジウム開催、外部査読・パブコメ、規準の刊行、講習会開催 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査 田辺新一 (早稲田大学)、幹事 尾関義一 (旭硝子) 委員 岩本静男 (神奈川大学)、大森敏明 (東京大学)、小笠原岳 (明星大学)、金勲 (国立保健医療科学院)、佐古井智紀 (信州大学)、佐藤孝広 (久米設計)、高田暁 (神戸大学)、堤仁美 (昭和女子大学)、永野秀明 (東京都市大学)、西原直枝 (聖心女子大学)、三浦克弘 (鹿島建設)、和田一樹 (竹中工務店) 「計 14 名」	
設置 WG (WG 名：目的)	無	
2014 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：公開 委員会 HP アドレス： http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/f-a00/fm00-12/fmj0-12.html

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. AIJES H0005-2015 サーマルマネキンを用いた室内温熱環境評価法規準・同解説
講習会	1. サーマルマネキンを用いた室内温熱環境評価法規準 参加者数 86 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. サーマルマネキンを用いた室内温熱環境評価法規準作成に向けての シンポジウム 参加者数 51 名 サーマルマネキンを用いた室内温熱環境評価法規準作成に向けての シンポジウム資料
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. サーマルマネキンを用いた室内温熱環境評価法規準・同解説 (案) パブリックコメント実施 (2014 年 10 月 3 日～10 月 28 日)
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 評価法規準作成：完了 2. 解説書作成：完了 3. 上記 1・2 をまとめて、学会規準として刊行 (2015 年 2 月 20 日)
委員会活動の問題点 ・課題	1. 予定通り目標を達成したため、本年度をもって委員会を閉会とする。 2. 3.

2014 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・**最終年度評価**)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>・ 2014 年度小委員会は <u>4回開催</u>し、充実した意見交流が行われた。</p> <p>・ 学会規準の作成が終了し、内部査読・シンポジウム・パブリックコメント・外部査読を経て正式に刊行された。</p> <p>「AIJES H0005-2015 サーマルマネキンを用いた室内温熱環境評価法規準・同解説」</p> <p>・ 学会規準は本文と解説を合わせて 78page、解説書には活用例・研究例を豊富に掲載し、幅広く活用されることを図った。</p> <p>委員会及び主な活動は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2014 年 5 月 30 日 第 1 回小委員会 ・ 2014 年 8 月 25 日 第 2 回小委員会 (信州大学繊維学部) ・ 2014 年 10 月 21 日 第 3 回小委員会 ・ 2014 年 12 月 18 日 第 4 回小委員会 <p>・ 2014 年 8 月 22 日 サーマルマネキンを用いた室内温熱環境評価法規準作成に向けてのシンポジウム</p> <p>・ 2014 年 10 月 3 日～10 月 28 日 学会規準 (案) パブリックコメント</p> <p>・ 2015 年 2 月 20 日 サーマルマネキンを用いた室内温熱環境評価法規準・同解説刊行、講習会開催</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。